

月華



ごあいさつ

介護老人福祉施設 つきかげ苑

施設長 稲岡 正純



潤す雨が植物の成長を促す季節を迎えたが、皆さまお健やかにお過ごしでしょうか。平素はつきかげ苑の運営にご支援、ご協力を賜わりまして心より厚く御礼申し上げます。

世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るい始め4年目になりますが、漸く5月から感染症の分類が5類に引き下げられることになり、社会生活が明るい兆しに向かいつつあるところです。3月13日よりマスクの着用も個人の判断に委ねられることとなりましたが、高齢者や基礎疾患のある方々にとって重症化リスクがあることに変わりはなく、我々のような高齢者福祉施設の従事者は気を緩めることなく感染対策を継続することが求められています。コロナ禍の長期化のなかで、「大切な人の大切な生活のため」にご家族や関係各位の皆さまにも面会並びに外出などの機会の制限を行い、たいへん御迷惑をおかけしております。関係各位の深いご理解、ご協力に重ねて感謝申し上げます。

つきかげ苑に於きましても、この3年間でご入居者3名、職員19名の感染がありましたが、大きなクラスター感染はなく胸を撫で下ろしているところであります。たゆまぬ感染対策を講じた職員を誇らしく感じております。今後も引き続きコロナ感染予防に努力してまいります。

社会福祉法人は「福祉を必要とする人達へのサービスの提供」を本文とするところでありますので、人と人とのつながりや地域とのつながりを十分に意識していかなければなりません。また、公共に求められていること、地域に求められていることを職員がしっかりと理解をし、「共助、利他性、互酬性」の醸成に努め、法人の存在感を高めていくことが重要と考えております。元号の「令和」には、人が美しく心を寄せ合う中で新しい文化や、新しい時代を切り開いていくと言う意味があるようです。まだまだ厳しい社会状況ではありますが、今年度はつきかげ苑も20年目を迎えます。ご入居者やご家族皆さまの事を考えて行動し、当苑が新しい時代を切り開いて行けるように職員一同精一杯務めてまいります。今後共、ご家族や地域の皆さまには、更なるご理解ご協力を賜わりますよう心よりお願い申し上げます。

令和5年度 社会福祉法人 浄山会 事業計画

I より良い介護の実践

1 安心できる生活を

コロナ禍は感染症分類が5類に引き下げられることになり、社会全体では少しづつ終焉に向かっているところであるが、高齢者や基礎疾患のある方々にとって重症化リスクのあるウイルスであることに変わりはない。また、分類の引き下げに伴いこれまで2類相当のもとで行われてきた様々な措置が終了・緩和されることで施設関係者の感染リスクが高まることが想定される。我々のような医療・介護従事者は気を緩めることはできず感染対応を継続することが求められると同時に、コロナ禍の長期化に伴い失われているご入居者とご家族の関係を取り戻すべく面会・外出などの機会を確保していく必要があるため、両輪の対応を柔軟に講じていく。

2 ご入居者の尊厳を尊重したケアプランの作成

ご入居者の希望のモニタリングを行い、ご入居者の意思に沿った生活を尊重して、その生活の継続性を意識したケアプランづくりに努める。

3 医療的ケアの実施

- (1) 医療的ケアを含めたスーパーバイズを行い、ケアの質の向上を図る。
- (2) 安定した医療的ケア体制を維持するために喀痰吸引・緊急時対応・服薬などの施設内研修を実施し事故防止に努める。
- (3) 医療的ケアに関する外部研修へ参加して関連情報や取組事例を収集する。

4 感染予防医療と衛生管理の充実

- (1) 食中毒の防止と感染症の予防対策については、委員会や施設内研修のなかで理解を深め、衛生管理の徹底と発生予防に努める。
- (2) 各種感染症の発生状況を常に把握し、適切な予防対策を講じる。
- (3) 施設委員会（リスクマネジメント・医療的ケア委員会）において作成の感染予防マニュアルに基づき、指導・協働に努める。
- (4) 新型コロナウイルス感染予防対策として、施設内共有部分の消毒の徹底、職員・ご入居者の体調管理・衛生管理に対する意識を継続して持ち、感染源を持ち込まないための取組を徹底する。
- (5) 施設内で感染が確認された場合は感染拡大を最小限にとどめ、行政の指示・指導に基づき適切に対応する。

II 看取り介護の充実

1 尊厳を大切にした看取り介護

- (1) 「最期まで尊厳を持って過ごしていただく」ことについて実践を通じて学び、職員教育・指導の継続をもって看取り介護へのより深い理解・スキルの向上を目指す。
- (2) 各部署・各職種のスキルアップと共に、多職種間の円滑な連携力を向上させる。
- (3) 終の棲家としての特別養護老人ホームの社会的責務を果たすべく努力する。

2 看取り介護の支援

- (1) ご入居者・ご家族の要望にできるだけ添えるよう、尊厳を大切にした温かみのある看取り介護を実践する。
- (2) コロナ禍でも感染対策を徹底し、ご入居者とご家族との時間を提供できるようにする。
- (3) 医師の指示に基づき多職種が連携・協働し、看取り介護の充実に努める。
- (4) 亡くなられたご家族へのグリーフケア（喪失感への援助）を行う。

III 個人に適した食事の提供

- (1) ご入居者一人ひとりの嚥下力や咀嚼力を考慮する。食事形態については日々の様子を常に観察し、他部署の意見も取り入れながら柔軟に変更できる体制をつくり、誤嚥予防に努める。
- (2) 個人の必要エネルギーを算出し適正な食事量を提供する。看取り介護においては、個人に合った食事内容や提供時間に配慮できるよう各部署と連携を取り対応する。

IV 地域社会とのつながり

地域の行事も自粛状態からの緩和が進んでおり、地域社会への参加ができる機会が増えてきている。ご入居者が外出しての参加はまだ難しいが、事業所としての地域社会参加、またリモートを用いて地域幼稚園・小・中・高校との交流も活発化させていきたい。

長引く新型コロナの影響を受け、ボランティアの方々との関係が希薄化しつつあるが、収束した際にはより多くのボランティアに来ていただけるよう関係性の向上を図る。

V 施設サービスの質の向上に向けての取り組み

施設サービスの質の向上および適正化を図ることを目的として以下の取り組みを実施し、客観的な評価を受ける。

- (1) 満足度調査の実施（ご入居者・ご家族）

VI 人材確保・定着に向けての取り組み

職員がゆとりをもってご入居者と向き合える環境づくりのために必要な人材確保に向け、採用活動を継続して行うとともに、定着において必要と考える以下の取り組みを検討・実施する。

- (1) 職員満足度調査の実施 (2) 有給休暇の取得促進 (3) 時間外勤務の削減 (4) ハラスマント防止のための取組
- (5) 介護機器等の導入 (6) 新入職員に対する指導・相談・フォロー・評価体制の見直し、強化 (7) リーダー層職員の指導力の強化

VII 収支の安定化

新型コロナウイルスの影響を受け稼働率が低下していることによる収入減、エネルギー関連費用をはじめとした固定費の高騰が続いていることによる支出増により、直近三か年の収支については厳しい状況であるため、適正な収支への回復と運営基盤の安定化のために稼働率の回復と冗費削減を図る。

VIII 災害・感染症への対応力の強化

災害・感染症が発生した場合であっても、必要な施設サービスを継続的に提供することができる体制を構築するための以下の取り組みを実施・強化する。

- (1)事業・業務継続計画（B C P）の策定
- (2)訓練・シミュレーションの実施
- (3)備蓄品の確保（非常食・感染対策用品等）
- (4)関連マニュアルの見直し・改訂

IX 運営基準改定（令和3年度改定）への対応について

令和3年度介護報酬改定で実施が義務付けられた項目のうち、3年間（令和6年3月31日まで）の経過措置期間が設けられている以下の項目について準備を進める。

- (1)口腔衛生管理体制の確保
- (2)介護職員（資格なし）への認知症介護基礎研修の受講機会の確保
- (3)災害・感染症対策の強化 ※項目VIII

令和5年度 社会福祉法人浄山会 年間行事計画

※定期行事

月	法人	施設全体	各ユニット
4月	運営会議	入職式/方針説明 /新入職員オリエンテーション/職員研修	花見
5月	運営会議/監事監査 /第1回理事会	職員研修/外出レクリエーション	母の日
6月	運営会議/定時評議員会 /第2回理事会	前期消防訓練/職員研修	父の日
7月	運営会議	関係物故者追善法要 /特定業務従事者健康診断/職員研修	七夕
8月	運営会議	職員研修	
9月	運営会議	月華祭・敬老祝賀会/入居者健康診断 /永年勤続表彰/職員研修	敬老会
10月	運営会議	満足度調査/職員研修	運動会
11月	運営会議	インフルエンザ予防接種/職員研修	紅葉狩り
12月	運営会議	後期消防訓練/餅つき/職員研修	クリスマス会
1月	運営会議	職員研修	書初め
2月	運営会議	職員定期健康診断/職員研修	節分
3月	運営会議/第3回理事会	彼岸法要/職員研修	ひな祭り

※隨時行事

週3回開催… 読経(浄土宗日常勤行式)(月・水・金)

月1回開催… 書道サークル(第1金曜), 合唱サークル(第2金曜), フラワーアレンジメント(第3金曜)
出張理美容(第4木曜)

隔月開催… 食事レクリエーション

ケアプランに基づいて実施… 個別外出レクリエーション(買い物, 寺院参拝等)

入居者の誕生日に開催… 誕生日会

ボランティアによる活動… 演奏(バンド・大正琴・ギター), 合唱, 体操, 傾聴, 車イス点検, 日本舞踊
コーラス, 人形劇, 和紙切り紙

新任ご挨拶

嘱託医師 白井 忠男



私は 京大医学部の先輩である前任者 長岡研五先生の紹介で 昨年の9月からきかけ苑に勤務しています。現在七十二歳ですが 週二回 水 金曜日の午前ご入居中の方々の回診をしつつ、デスクワーカーを医務室で行ております。

京大医学部・大学院を修了後は 天理よろづ相談所病院 京都市立病院で白血病 悪性リバ腫を中心に血液疾患の診療をしていました。その後 京都市内の保健所で感染症関連の業務を行った後、直前は京都産業大学の保健管理センターで十二年間 講義や学生 教職員の健康管理に携わってきました。

出身は岐阜県で 中日ドラゴンズファンですので、最近はあまり野球の話には触れないことにしていますが、阪神ファンとも仲良くボヤくことができると私は思っています。趣味は 山登りと音楽鑑賞です。以前は 北アルプス 南アルプスの山々を縦走していましたが、コロナ禍以降は大文字山などの イギングになりました。穂高 槍ヶ岳 立山 劔岳 北岳や甲斐駒ヶ岳が懐かしいです。

音楽鑑賞は 中・高校生時代のビートルズに始まり、大学に入てからはジャズになり、今は専らクラシックです。ベートーベン、 Brahms、ブルックナー やワグナーのドイツ音楽が好きで、指揮者はフルトワングラー、ティーベーマンをよく聴いています。また、広上淳一さんが常任に就任後 最近十年ぐらいの京都市交響楽団 京響の演奏は頼もしいものがあります。今季より就任される沖澤のどかさんも楽しみです。コロナ禍以前は 国内外のコンサートにもよく出かけたのですが、今春以降また 出かけられるようになることを期待しております。

つきかけ苑に初めて訪れた時 施設の新しさと清潔さには正直 驚きました。また、スタッフは非常に優秀で 私が勤務しない日や稀に連絡が着かない時も適切な対応ができる状況で 誇らしい限りです。御所に近く 閑静な環境にも恵まれつきかけ苑ほどあらゆる面で充実し、恵まれた人材を擁する施設は他にはないと思っています。よろしくお願ひします。

つきかけ苑での日常

自由にご面会していただくことが難しい状況が長期間続いているますが、少しでもご入居者の普段のご様子を写真でお伝えできればと思います。





要望受付

令和五年一月から四月上旬にいたいたご要望の内容は、「時々日光浴をさせてほしい」「散歩に連れて行きたい」「普通の面会がしたい」「居室の温度調整をしてほしい」「鰯以外の青魚にアレルギーはないので提供してほしい」「体重や年齢に応じて減薬してほしい」「母の人生をまとめた動画を作つたので時々見せてほしい」の七件となります。

頂戴しておりますご要望は、ケアプランの立案や各種委員会、フロアアミーティングなどで検討し、ご入居者の生活がより豊かになるように努めてまいります。各行政機関の要望受付窓口（市・区・国民健康保険団体連合会）及び第三者委員会（地元学区民生委員など）へのご相談も活用ください。

編集後記

この冬は例年よりも寒く、雪景色が何度も見られて綺麗だなと思う反面、早く暖かい春になつてほしいと思いながら日々を過ごしておりました。

今年の春は、世間がざわざわしているように感じるのは私だけでしようか。マスク着脱の個人判断、三年ぶりの行事や祭りの開催、観光地で外国人を見かけることも多くなりました。活気が戻るのは良いことですが、ご入居者に安心して過ごしていただくためにも高齢者施設では、まだまだ感染対応を継続しなければなりません。

広間でのご家族との面会も再開しております。境内の桜のようすに、ご入居者の満開の笑顔がみられた